# 第19回 夏休み自然観察記録コンクール

◇募 集 2012年8月1日(水)~9月20日(木)

◇応 募 小学校 17 校から 93 点( | 年 3 点、 2 年 39 点、 3 年 | 3 点、 4 年 | 7 点、 5 年 | 12 点、 6 年 9 点)

◇入 選 入賞9点、佳作20点、学校賞2校

◇審査委員 横山 武彦(審査委員長、北海道自然保護協会理事)

佐藤 謙(同会長)

在田 一則 (同副会長)

佐々木克之(同副会長)

江部 靖雄(同常務理事・事務局長)

福地 郁子(同常務理事)

荻田 雄輔 (同常務理事)

大久保フヨ(同理事)

堀 繁久(北海道開拓記念館学芸員)

矢萩 学(北海道新聞野生生物基金事務局長)

◇主 催 北海道自然保護協会

北海道新聞野生生物基金

北海道新聞社

◇後 援 北海道教育委員会

第19回夏休み自然観察記録コンクールの審査が9月28日に審査が行われ、入賞、佳作、学校賞が決まった。最高賞の金賞には佐藤帆君(札幌市立大倉山小学校4年)の「クサグモの観察」が選ばれた。受賞者・受賞校は次のとおり。(敬称略)

#### ▽金賞

佐藤 帆 (札幌市立大倉山小学校 4 年) 「クサグモの観察」

# ▽銀賞

柴田礼歩(札幌市立大倉山小学校3年)

「カタツムリの 12 色の絵の具~マイマイのフンの着色実験 |

岸本隆之介(札幌市立真駒内桜山小学校4年)

「植物の強敵 黒星病&うどんこ病」

#### ▽銅賞

島田煌希(札幌市立川北小学校1年)

「めだかのかんさつ」

稲野 響(札幌市立真駒内桜山小学校2年)

「ウグイとフクドジョウのかんさつ」

関根晴紀(札幌市立西岡小学校3年)

「タンポポの発芽の観察」

木村駿亮(札幌市立大倉山小学校3年)

「カブトムシとクワガタムシのちがい」

上杉那珠花(札幌市立真駒内桜山小学校 4 年)

「畑のかんさつ」

櫛引秀斗(札幌市立大倉山小学校4年)

「水生生物の観察と川の水質調べ」

## ▽佳作

坂東泰知(札幌市立真駒内桜山小学校2年)

「ぼくのふるさとの天気」

矢部由希子(札幌市立真駒内桜山小学校2年)

「おばあちゃんのにわ」

田熊水琴(札幌市立白石小学校2年)

「海の生きもの」

長太陽寬(石狩市立双葉小学校2年)

「トノサマバッタ」

安澤エマ (千歳市立北陽小学校2年)

「カタツムリのせいたい」

田中奎佑(千歳市立北陽小学校2年)

「アンモナイト」

富田茉広(札幌市立大倉山小学校2年)

「たべものの中み」

野呂祐陽(札幌市立大倉山小学校2年)

「くわがたのすきなたべものしらべ」

伊東敬太(札幌市立大倉山小学校3年)

「はまべの貝がら」

須藤みな(札幌市立中央小学校4年)

「いきものさがそう たきのすずらん公園」 本田こなつ(札幌市立真駒内桜山小学校4年) 「植物図かん」

多田 遥 (札幌市立大倉山小学校4年) 「いろいろな魚のタイのタイ」

谷 菜摘(札幌市立大倉山小学校5年)

「おばあちゃんの畑でこまっている植物」 平田祐希生(札幌市立大倉山小学校5年) 「クワガタオリンピック」

柳町なお子(札幌市立大倉山小学校5年)

「荒井山に生えている木」

須藤あまね(札幌市立中央小学校6年)

「野幌森林公園生物達に 会いに行こうよ!」

川端 花 (札幌市立真駒内桜山小学校6年) 「どんな野菜・果物もでんぷんはあるの」 小出果奈 (札幌市立真駒内桜山小学校6年) 「水のよごれを調べよう」 浅田幹大 (札幌市立大倉山小学校6年)

**₿田幹大(札幌市立大倉山小学校 6 年)** 「標本」

滝沢亜里沙(札幌市立大倉山小学校6年) 「カナヘビミニ図鑑」

#### ▽学校賞

札幌市立大倉山小学校 札幌市立真駒内桜山小学校

# □□□ 身近な自然の中のふしぎ、 知る・分かる喜びがあふれた観察の記録

審査委員長 横山武彦 🖂 🖂 🖂

第19回夏休み自然観察コンクールは当協会と 北海道新聞社、脚北海道新聞野生生物基金の共催、 北海道教育委員会の後援で行われました。

今回は全道の小学校から17校、93点の作品が寄せられ、審査の結果、金賞1点、銀賞2点、銅賞6点、佳作20点が選ばれ、学校賞は札幌市立大倉山小学校と札幌市立真駒内桜山小学校に授与されました。コンクールの結果は北海道新聞10月27日付け夕刊に金賞・銀賞の作者・作品の紹介、審査講評とともに掲載されました。

自然観察記録コンクールでは、不思議だな、どうしてかなと思ったこと、新しい気付きに感動したことを、より深く知るために調べて、自分の手で記録して作品づくりをすることが大事です。取り組む過程では、自然の中にある不思議や美しさに気付き、感動するとともに、探求する楽しさ、知る喜びを体験するとともに子どもたちの感性が育まれます。

今回入賞した作品は、子どもらしい興味関心からうまれた探究心、観察や研究へのひたむきな姿勢と努力がにじみ出たものでした。以下に、金賞、銀賞、銅賞作品について、それぞれ概要を紹介します。

### [金賞]

佐藤帆君(札幌市立大倉山小学校4年)は、自宅の玄関横でクサグモの巣をみつけ、巣作りのようす、エサの取りかた、巣の補修のようす、その時に使う脚の動かし方などを8月2日から15日間観察したものでした。縦糸と横糸の張られかた壊れた巣の補修の様子を分かりやすく説明、クサ

グモの全体スケッチも正確で、雨の後、巣についていた水滴の美しさに感動したようすなど、虫の中で一番好きというクモへの思いも伝わるすばらしい作品でした。

#### 「銀當〕

岸本隆之介君(札幌市立真駒内桜山小学校4年)は、植えたキュウリに病気で変形したキュウリの実ができたり葉が病気で枯れたりしたため、どうしたら病気にならないようにできるか知りたくなったことが黒星病とうどん粉病を調べるきっかけでした。健康な葉と病気の葉の比較、病気の伝わりかたの実験、顕微鏡での観察も工夫して行い、調べ学習と合わせて二つの病気がともに胞子と菌糸で殖えるカビであることが分かった過程もしっかりと示された作品でした。

柴田礼歩さん (札幌市立大倉山小学校3年) は、カタツムリのフンの色が食べ物により異なることに興味づけられ、12色のフンでカタツムリの絵を描いてみたいと考え、裏山でつかまえた115匹のカタツムリに合計48種類の食べ物を与えどんな色のフンをだすか調べました。違う食べ物を与える時は4日間の休養を与えるなど工夫し、実験計画やまとめもしっかりした、わくわく感も伝わる作品でした。カタツムリの解剖図、フンで描いたカタツムリもよく描けていました。

#### [銅賞]

島田煌希君(札幌市立川北小学校1年)は、ヒメダカの産卵・孵化の様子をしっかりとした観察 眼でとらえ、絵日記風に観察記録したものでした。 稲野響君(札幌市立真駒内桜山小学校2年)は、 豊平川でとったウグイとフクドジョウの飼育観察 記録でした。魚を捕獲した川の様子、川床の凹穴 などについても自分の目で見た考えたことを記載 していました。

関根晴紀君(札幌市立西岡小学校3年)は、タンポポを種から発芽させ、子葉が生じ本葉に縁のギザギザができるまでの生育経過を観察記録したものです。それぞれの生育段階でのスケッチもしっかりと描かれていました。

木村駿亮君(札幌市立大倉山小学校3年)は、 道外や国外も含む各種のカブトムシとクワガタム シについて形態的な特徴だけでなく、行動やすみ か、食べ物の好みなどを比較したものでした。 上杉那珠花さん(札幌市立真駒内桜山小学校 4年)は、畑の野菜の葉や茎、つる、花、実の形や内部のつくりについてのスケッチと観察記録でした。写真を併用していますが、きれいなスケッチに正確な観察の眼が伺えるものでした。

櫛引秀斗君(札幌市立大倉山小学校4年)は、まず水質を知ることのできる指標生物について飼育、実験などを行ってその生態や特徴を写真やスケッチし、調べたことと共に記載。さらに棲息している水生生物を比較することにより札幌市内の三つの川(真駒内川・琴似発寒川・左股川)の水の汚れ具合を調べました。



金賞 佐藤 帆さん (札幌市立大倉山小学校4年) 「クサグモの観察|



銀賞 柴田礼歩さん (札幌市立大倉山小学校3年) 「カタツムリの12色の絵の具~マイマイのフンの着 色実験」



銀賞 岸本隆之介さん (札幌市立真駒内桜山小学校 4年) 「植物の強敵 黒星病&うどんこ病」